

保護者様

令和4年 11月8日

京都市立南大内小学校
校長 皆川 真有美

令和4年度 学校評価アンケート＜前期＞

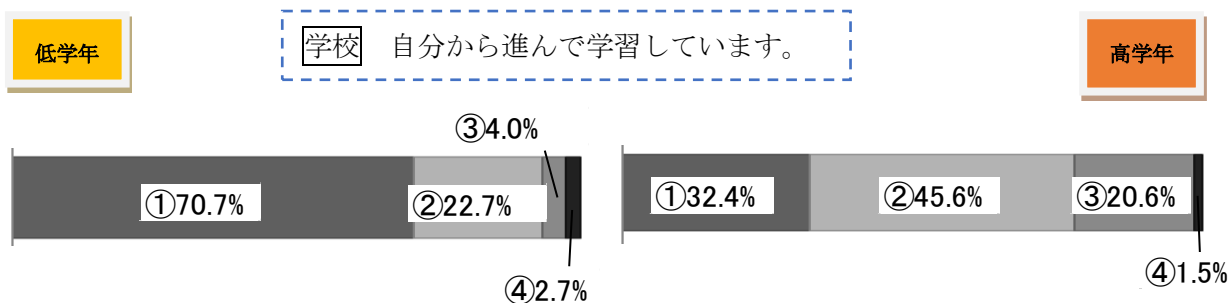
平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、7月に実施しました学校評価アンケートについてお伝えします。アンケートの数値から子どもたちの様子や保護者の皆様のご意見をもとに、計画・実行・点検・検証（PDCA）のサイクルで学校教育の充実と向上を図りたいと考えております。

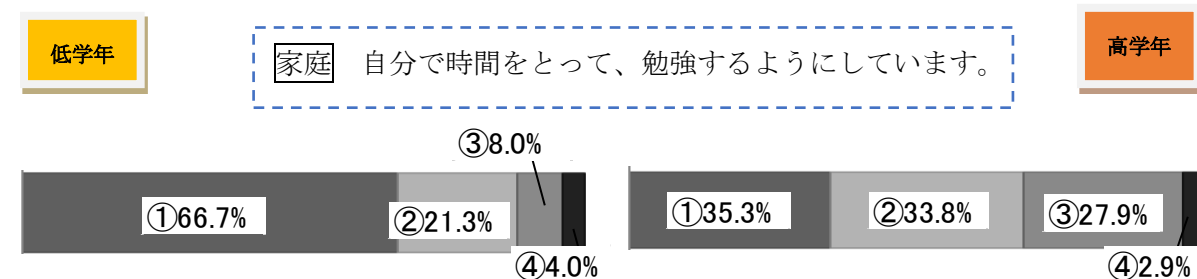
* グラフの項目 ①そう思う②大体そう思う③あまりそう思わない④そう思わない

1 「確かな学力」の育成に向けて

本校の学校教育目標の中に、『自らを高める』とあります。これは、子どもたちが「主体的に学ぶこと」を実現できる資質・能力を育てることを目指しています。「子どもたちが自ら進んで学習すること」についての項目を見ると、おおむね、自らを高めるために、進んで学習に取り組んでいることがわかります。ただ、学年が進むにつれて、自分から進んで学習していると答える割合が減っているのは、気になるところです。意欲的に取り組める学習問題を設定するなど、工夫していきたいと思います。

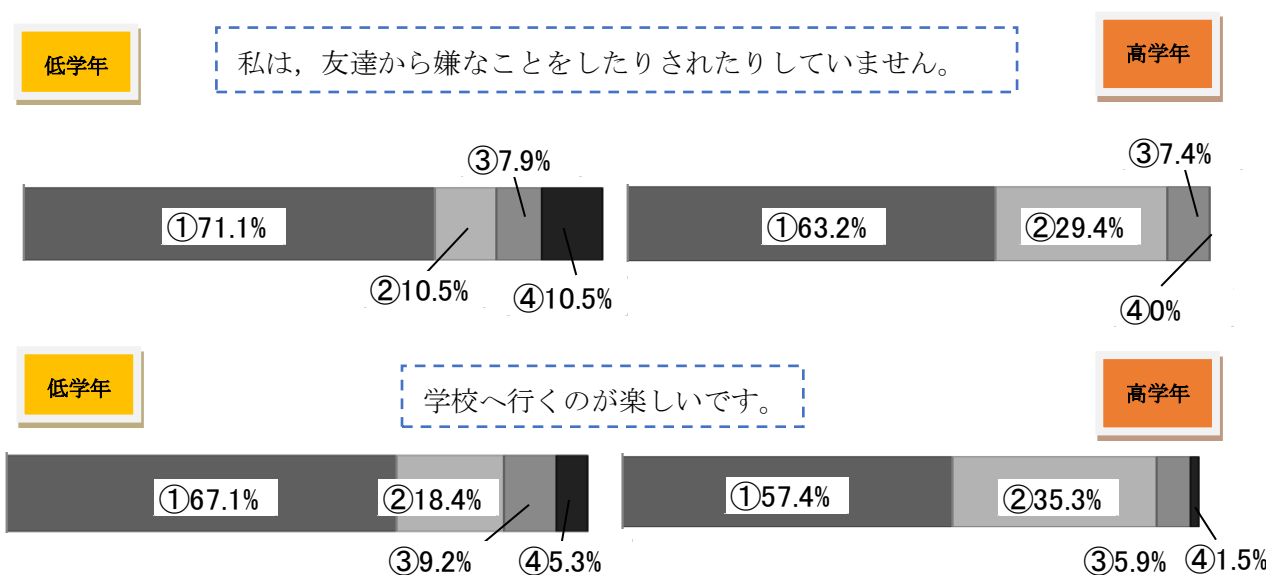


「自分で時間をとって、勉強するようにしていますか。」についての項目を見ると、上のグラフと比べて、少し割合が下がるものの、ほとんど変わりがないので、学校でも、家でも変わらず、学習に向かっていることがうかがえます。

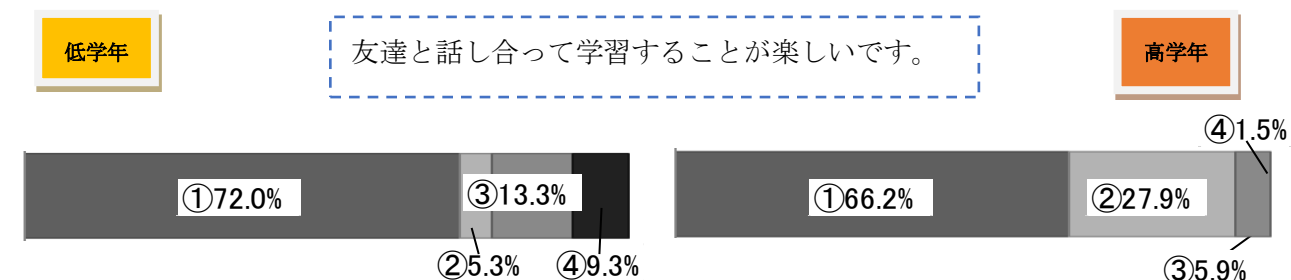


2 「豊かな心」の育成に向けて

豊かな心の育成のためには、支えあい、高め合う集団作りの推進と絆づくりが欠かせません。また、規範意識をもち、多様性を理解することも大切です。子どもたちがどのような思いで日々の学校生活を過ごしているかを把握し、豊かな心の育成を目指していきたいと思います。

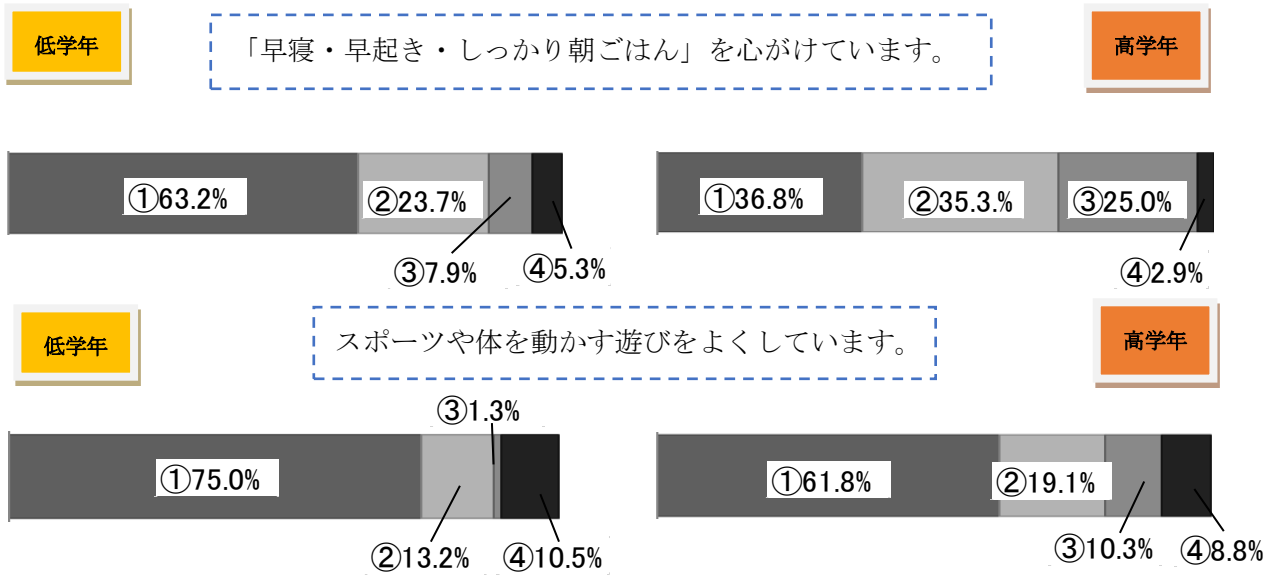


「学校へ行くのが楽しいです。」の項目を見ると、低学年も高学年も、楽しいと感じている児童が多いことがわかります。また、「友達から嫌なことをしたりされたりしていません。」の項目を見てみると、学年が進むにつれて、嫌な思いをしている人の割合が小さくなっているのが、相手の立場になって物事を考えられるようになってきていることがうかがえます。逆に、低学年では、嫌なことをしたりされたりしていることが少なからずあるようです。小さいトラブルでも、細やかな対応を心がけていきます。そして、豊かな心を育てていきたいと思います。



「友達と話し合って学習することが楽しいです。」の項目を見ると、特に高学年の割合が高くなっていました。学校生活の中で、友達との学び合いを楽しんでいるようです。本校では、『対話的な学び』を大切にして教育活動を行っています。充実した話し合い活動を目指すことが、子どもたちの学ぶ楽しさにつながると考え、今後もさらに取組を進めていきます。

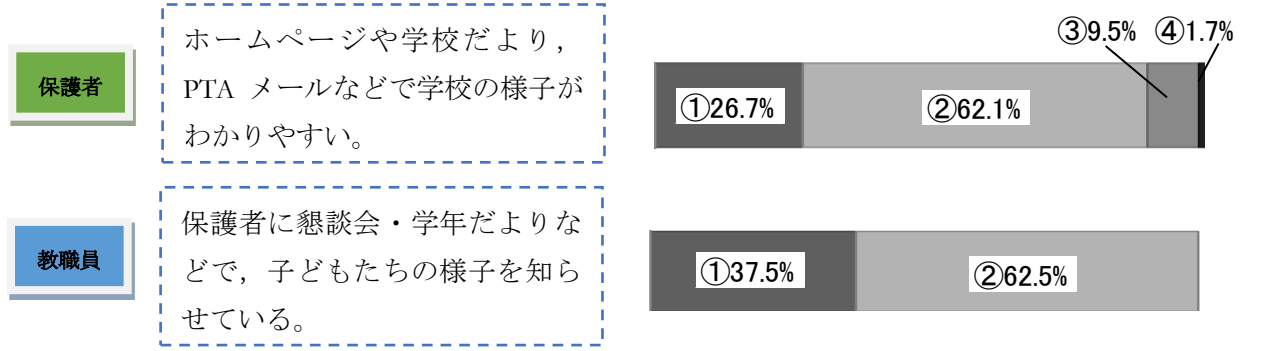
3 「健やかな体」の育成に向けて



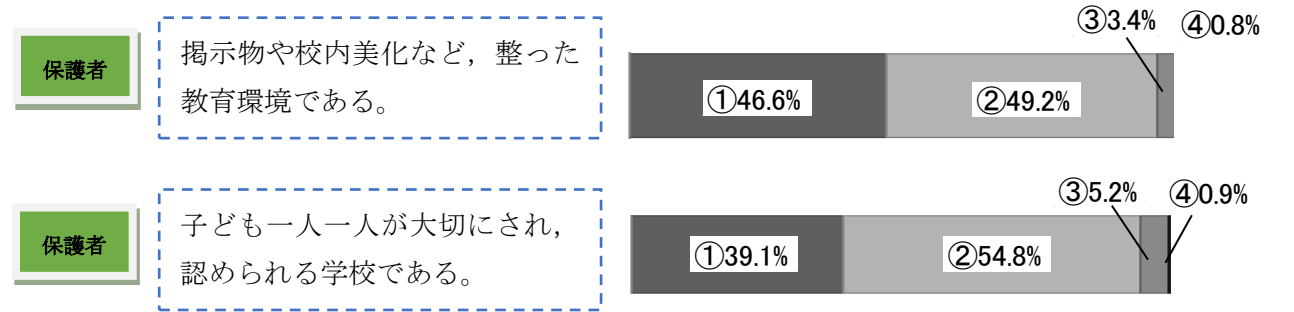
「早寝・早起き・しっかり朝ごはんを心がけています。」の項目では、高学年になると落ち込みが見られました。基本的な生活習慣の確立を目指して、保護者の皆様と協力しながら今後も生活チェックを継続していきます。保護者アンケートの、『しっかり朝食をとらせるよう働きかけている。』の項目では、よく出来ている、できているの割合を合わせると100%でしたので、早寝・早起きのところに課題があるかもしれません。今後も、子ども達への働きかけを継続していただきますよう、よろしくお願いします。

「スポーツや体を動かす遊びをよくしています。」の項目では、他の項目と比べて、①のそう思うが多かったですが、④のそう思わないも多かったです。休み時間や、下校までの時間に外で遊ぶことや、どんな遊び方ができるかを子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。

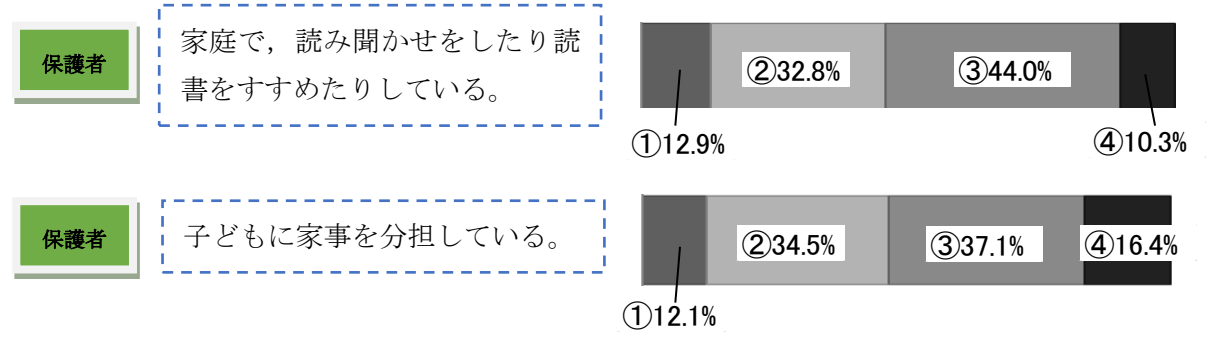
4 その他



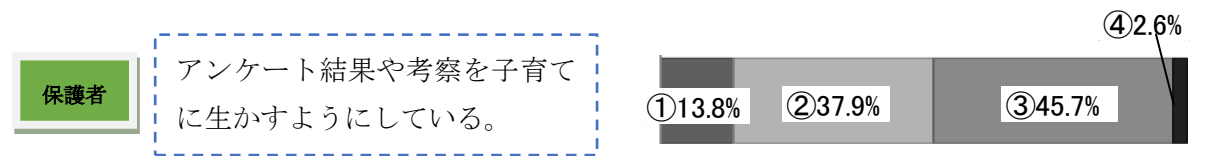
情報共有や連絡等についての項目です。質問の内容が異なっているので、数値をそのまま比較はできませんが、学校での子どもたちの様子やお知らせをどのように発信していくかについては、今後も検討していきたいと考えます。



「掲示物や校内美化など、整った教育環境である。」「子ども一人一人が大切にされ、認められる学校である。」の項目では、肯定的な意見が多く、学校としては、とてもうれしい結果でした。日頃から、本校の教職員みんなで心がけてきたことであるので、今後も引き続き大事にしていきたいです。



保護者アンケートの結果で、実現度が特に低かった項目が、上の2つで、ご家庭での取組の難しさがうかがえます。学校では、朝に読書タイムを作り、読書の習慣が身に着くように取り組んでいます。また、高学年の家庭科の時間では、家庭の仕事を分担して行うことを、計画・実践しています。ご家庭でも、読書タイムを設定したり、家庭の仕事を分担したりするなど、少しずつできることから取り組んでみてはいかがでしょうか。



上の結果は、学校がアンケート集計したものを、どのように発信するかに関係していると考えられています。今後も何が成果・課題であるかを明確にし、わかりやすく発信できればと思います。また、今回の結果をふまえ、質問内容を精査して次回の学校評価アンケートを行います。